

(別添)

# News Release

2019年 9月 26日

NITE ( ナ イ ト )

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所

## リコール情報を見逃さずに事故を防ぐ ～身の回りの製品がリコール製品か確認しましょう～

### 1. 事故の発生状況

2007年度から2018年度までの12年間にNITEに通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）でリコール製品による重大製品事故が46件<sup>※2</sup>（すべてが火災に至った事故）ありました。

#### (1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 リコール製品による重大製品事故の県別の年度別事故発生件数（2007～2018年度）

発生年度	富山県	石川県	福井県	合計	
2007年度	0	5	0	5	
2008年度	1	3	4	8	
2009年度	2	2	0	4	
2010年度	4	3	2	9	
2011年度	1	1	1	3	
2012年度	2	2	0	4	
2013年度	3	1	2	6	
2014年度	0	3	0	3	
2015年度	0	0	1	1	
2016年度	1	1	0	2	
2017年度	0	1	0	1	
2018年度	0	0	0	0	
合 計	事故件数	14	22	10	46
	火災件数	[14]	[22]	[10]	[46]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

## (2) 県別の被害状況別事故発生件数（表 2）

表 2 リコール製品による重大製品事故の県別の被害状況別事故発生件数（2007～2018 年度）※3

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	1	0	0	1
物的被害	拡大被害	7	7	5	19
	製品破損	6	15	5	26
被害なし		0	0	0	0
合計		14	22	10	46

※3: 表 2 において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. リコール製品による主な重大製品事故事例

## (1) 石油給湯機の部品の設計不良により火災が発生した事故

・ 2010 年 5 月（富山県、男性、50 歳代、製品破損）

## 【事故の内容】

石油給湯機を使用中、石油給湯機から出火する火災が発生し、石油給湯機及び周辺が焼損した。

## 【事故の原因】

石油給湯機の電磁弁に使用されていた部品の Oリング（パッキン）が劣化により硬化、収縮して器具内に油漏れが発生し、漏れた灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。

## (2) 扇風機の部品の経年劣化により火災が発生した事故

・ 2011 年 7 月（福井県、男性、70 歳代、製品破損）

## 【事故の内容】

扇風機を使用中、異音がしたため確認すると、扇風機から出火する火災が発生しており、扇風機が焼損した。

## 【事故の原因】

扇風機は、長期使用（約 3 6 年）によりモーターの起動コンデンサーが絶縁劣化し短絡状態となり、モーター巻線に過電流が流れたため異常発熱して、出火に至ったものと考えられる。

## (3) 電子レンジの部品の製造不良により火災が発生した事故

・ 2015 年 2 月（石川県、女性、60 歳代、拡大被害）

## 【事故の内容】

電子レンジを使用中、建物を全焼する火災が発生した。

## 【事故の原因】

電子レンジのドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。

### 3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」として  
ください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 技術課

担当者 樋口、矢代

電話：076-231-0435

以上